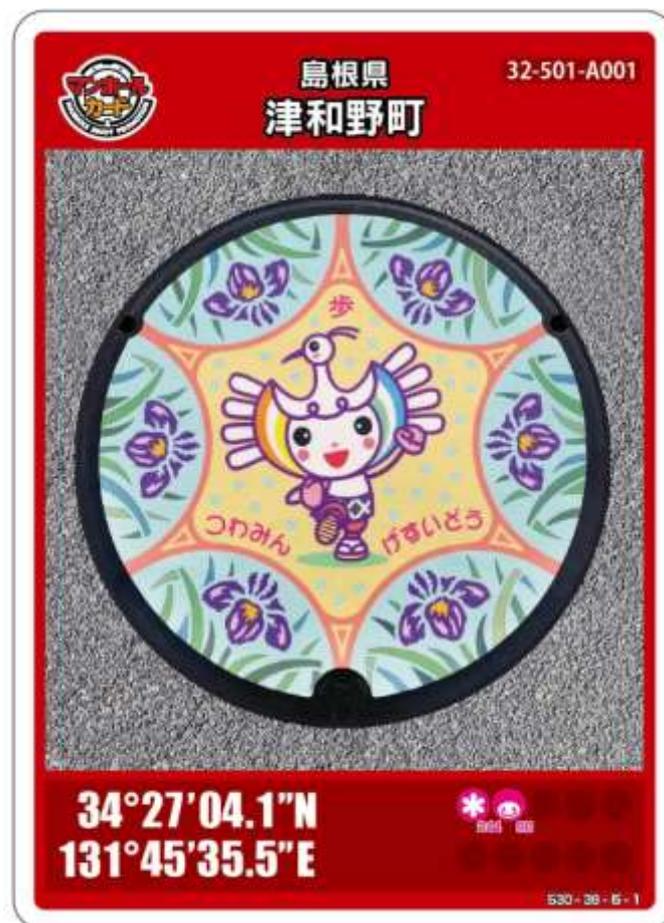


つわみんマンホールカードを活用した

## 観光動態簡易調査



津和野町商工観光課

令和6年11月

## 1. 目的

本アンケートは、津和野町内における観光消費額の増加を目的として、その目的達成にむけ今後の津和野町の観光戦略の検討・立案のための基礎資料として実施するものである。

## 2. アンケート実施概要

### ① 実施方法

津和野町イメージアップキャラクター「つわみん」を採用したマンホールカード配布希望者に対して Google フォームで作成した WEB アンケートに回答する方法で実施（アンケート回答でカードを配布）

### ② 実施場所

津和野町観光協会 観光案内カウンター（津和野駅構内）

### ③ 集計期間

2023年11月23日~2024年11月1日

### ④ 回答回収数 1,226 件

### 3. 集計結果

ここからは、本アンケートで回収した回答の調査結果を示す。

#### 3-1 全集計

##### ① 性別

全回答のうち男性の割合は 65.7%、女性の割合は 34.1%となった。来訪者の傾向として男性の割合が高くなっている。

表 1.回答者の性別構成

行ラベル	▼ 個数 / 性別	構成割合
女性	418	34.1%
男性	806	65.7%
答えたくない	2	0.2%
<b>総計</b>	<b>1226</b>	<b>100.0%</b>

##### ② 年代

最も高い割合の年代は 50 代で 27.7%、続いて 40 代 24.7%、60 代 17.9%となり、40～60 代の合計で 70.3%となり、高年齢層の来訪が多くなっている。「30 歳代」「20 歳代」「10 歳代」「10 歳未満」の合計が 23.3%となっている。(表 2) なお男性・女性の性別ごとにおいてもほぼ同様の傾向となっている。(表 3、表 4)

表 2.来訪者の年代分類

行ラベル	▼ 個数 / 年代	構成割合
10歳未満	20	1.6%
10歳代	33	2.7%
20歳代	90	7.3%
30歳代	143	11.7%
40歳代	303	24.7%
50歳代	339	27.7%
60歳代	220	17.9%
70歳以上	76	6.2%
答えたくない	2	0.2%
<b>総計</b>	<b>1226</b>	<b>100.0%</b>

表 3.男性の年代分類

性別	男性	▼
行ラベル	▼ 個数 / 年代	構成割合
10歳未満	12	1.5%
10歳代	24	3.0%
20歳代	63	7.8%
30歳代	76	9.4%
40歳代	197	24.4%
50歳代	230	28.5%
60歳代	146	18.1%
70歳以上	57	7.1%
答えたくない	1	0.1%
<b>総計</b>	<b>806</b>	<b>100.0%</b>

表 4.女性の年代分類

性別	女性	▼
行ラベル	▼ 個数 / 年代	構成割合
10歳未満	8	1.9%
10歳代	9	2.2%
20歳代	27	6.5%
30歳代	66	15.8%
40歳代	106	25.4%
50歳代	109	26.1%
60歳代	74	17.7%
70歳以上	19	4.5%
<b>総計</b>	<b>418</b>	<b>100.0%</b>

③ 居住都道府県

回答者の居住都道府県で最も高い割合は広島県と東京都で共に 11.6%、次いで山口県 11.2%となる。上位 10 位が中国地方（広島、山口、島根、岡山、）首都圏（東京、神奈川、埼玉）、関西（大阪、兵庫）の 3つのエリアからの来訪を占める結果となった。（表 5）

表 5.来訪者の居住都道府県の分類

行ラベル	個数 / 都道府県	構成割合
広島県	142	11.6%
東京都	142	11.6%
山口県	137	11.2%
大阪府	94	7.7%
兵庫県	93	7.6%
神奈川県	76	6.2%
福岡県	64	5.2%
島根県	56	4.6%
愛知県	49	4.0%
埼玉県	45	3.7%
岡山県	44	3.6%
千葉県	36	2.9%
京都府	32	2.6%
奈良県	20	1.6%
海外	19	1.5%
静岡県	17	1.4%
愛媛県	12	1.0%
茨城県	12	1.0%
北海道	10	0.8%
滋賀県	9	0.7%
鳥取県	8	0.7%
群馬県	7	0.6%
三重県	7	0.6%
香川県	7	0.6%
宮城県	7	0.6%
石川県	7	0.6%
大分県	6	0.5%
長崎県	6	0.5%
栃木県	6	0.5%
長野県	5	0.4%
熊本県	5	0.4%
新潟県	5	0.4%
高知県	5	0.4%
鹿児島県	5	0.4%
福島県	4	0.3%
佐賀県	4	0.3%
山梨県	3	0.2%
青森県	3	0.2%
岩手県	3	0.2%
山形県	2	0.2%
岐阜県	2	0.2%
沖縄県	2	0.2%
富山県	2	0.2%
和歌山県	1	0.1%
答えたくない	1	0.1%
徳島県	1	0.1%
宮崎県	1	0.1%
福井県	1	0.1%
秋田県	1	0.1%
総計	1226	100.0%

また、都道府県ごとの各年代割合については表6の通りとなった。

表 6.各都道府県\_年代別分類

各年代の構成割合 行ラベル	列ラベル 10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	答えたくない
広島県	0.0%	2.1%	5.6%	10.6%	21.1%	28.9%	23.9%	7.7%	0.0%
東京都	1.4%	1.4%	8.5%	7.7%	31.7%	31.7%	14.8%	2.8%	0.0%
山口県	5.1%	4.4%	9.5%	16.1%	25.5%	20.4%	12.4%	5.8%	0.7%
大阪府	1.1%	2.1%	9.6%	11.7%	18.1%	31.9%	24.5%	1.1%	0.0%
兵庫県	2.2%	2.2%	6.5%	19.4%	22.6%	23.7%	15.1%	8.6%	0.0%
神奈川県	1.3%	2.6%	9.2%	7.9%	19.7%	38.2%	15.8%	5.3%	0.0%
福岡県	3.1%	3.1%	4.7%	14.1%	32.8%	28.1%	10.9%	3.1%	0.0%
島根県	1.8%	1.8%	5.4%	16.1%	30.4%	21.4%	19.6%	3.6%	0.0%
愛知県	2.0%	2.0%	6.1%	6.1%	24.5%	30.6%	20.4%	8.2%	0.0%
埼玉県	0.0%	2.2%	6.7%	4.4%	24.4%	22.2%	28.9%	11.1%	0.0%
岡山県	0.0%	2.3%	4.5%	11.4%	25.0%	36.4%	13.6%	6.8%	0.0%
千葉県	0.0%	2.8%	5.6%	11.1%	33.3%	27.8%	13.9%	5.6%	0.0%
京都府	6.3%	0.0%	15.6%	15.6%	12.5%	25.0%	21.9%	3.1%	0.0%
奈良県	0.0%	15.0%	10.0%	0.0%	10.0%	30.0%	20.0%	15.0%	0.0%
海外	0.0%	15.8%	21.1%	10.5%	47.4%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%
静岡県	0.0%	0.0%	0.0%	11.8%	17.6%	11.8%	47.1%	11.8%	0.0%
愛媛県	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	33.3%	25.0%	8.3%	0.0%	0.0%
茨城県	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	25.0%	16.7%	25.0%	16.7%	0.0%
北海道	0.0%	10.0%	0.0%	10.0%	20.0%	10.0%	20.0%	30.0%	0.0%
滋賀県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	22.2%	44.4%	0.0%	0.0%
鳥取県	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	37.5%	37.5%	12.5%	0.0%	0.0%
群馬県	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%	42.9%	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%
三重県	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	42.9%	28.6%	0.0%	0.0%
香川県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	28.6%	28.6%	14.3%	0.0%
宮城県	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%	14.3%	28.6%	14.3%	14.3%	0.0%
石川県	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%	14.3%	28.6%	28.6%	0.0%
大分県	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	16.7%	50.0%	0.0%	16.7%	0.0%
長崎県	0.0%	16.7%	0.0%	16.7%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
栃木県	0.0%	16.7%	0.0%	16.7%	16.7%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%
長野県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	40.0%	0.0%	20.0%	0.0%
熊本県	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	20.0%	40.0%	0.0%	0.0%
新潟県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%
高知県	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%
鹿児島県	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%
福島県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%
佐賀県	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%
山梨県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
青森県	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%
岩手県	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
山形県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%
岐阜県	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
沖縄県	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
富山県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
和歌山県	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
答えたくない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
徳島県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
宮崎県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
福井県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
秋田県	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
総計	1.6%	2.7%	7.3%	11.7%	24.7%	27.7%	17.9%	6.2%	0.2%

④ 津和野への来訪回数

津和野への来訪回数に対する回答としては、初回（「1」）の方が全体の 45.6%を占めている。3回までの来訪で全体の 77.5%を占める結果となった。また4位に「11回以上」が 9.3%を占め熱心なリピーターが一定数いると推測される。（表 7）男女別にみてもこの傾向は同様である

表 7. 津和野への来訪回数

行ラベル	個数 / 来訪回数（初回は「1」）	構成割合
1	559	45.6%
2	253	20.6%
3	139	11.3%
11回以上	114	9.3%
5	90	7.3%
4	29	2.4%
6	17	1.4%
10	13	1.1%
7	4	0.3%
8	4	0.3%
9	4	0.3%
<b>総計</b>	<b>1226</b>	<b>100.0%</b>

⑤ 同行者

単身旅行が 39.0%を占めており、次いで家族 26.1%、夫婦 23.2%の結果となった。

恋人での来訪は全体の 2.0%しか占めておらず、津和野町は恋人で訪れる方の割合が低い結果となっている。

表 8.同行者の回答数と構成率

行ラベル	回答数	構成率
一人	478	39.0%
家族	320	26.1%
夫婦	284	23.2%
友人・知人	95	7.7%
恋人	24	2.0%
上記以外	25	2.0%
<b>総計</b>	<b>1226</b>	<b>100.0%</b>

⑥ 旅程日程

来訪者の旅行日程に対する回答では、日帰り 37.6%、宿泊あり（上記以外は含まず）58.2%となった。

表.9 旅行日程\_全体

都道府県 (すべて)			
行ラベル	個数 / 旅行日程	構成割合	
1泊2日	282	23.0%	
2泊3日	225	18.4%	
3泊以上	206	16.8%	
上記以外	52	4.2%	
日帰り	461	37.6%	
<b>総計</b>	<b>1226</b>	<b>100.0%</b>	
日帰り	461	37.6%	
宿泊あり (上記以外は含まず)	713	58.2%	

旅行日程について p4 の居住都道府県の回答上位 10 都府県ごとの旅行日程の集計結果は次の表 10 から表 14 となった。津和野町が所在する島根県、津和野町と県境が隣り合う広島県・山口県からの旅行日程については「日帰り」の割合が高くなっている（広島県 70.4%、山口県 88.3%、島根県 66.1%）。東京都、大阪府、兵庫県、神奈川県、愛知県、埼玉県は居住地から移動距離が長くなるため必然的に宿泊を伴う旅行日程となっている。

東京都と神奈川県は「3泊以上」の割合が他県と比較して高くなっている（東京都 37.3%、神奈川県 39.5%）。

福岡県については日帰り（51.6%）、宿泊あり（45.3%）の構成比率の差は他の都府県と比較して小さくなっており、誘客方法次第では宿泊ありの割合を高められる余地がある。

表 10. 旅行日程\_広島県（左）、東京都（右）

都道府県 広島県			
行ラベル	個数 / 旅行日程	構成割合	
1泊2日	32	22.5%	
2泊3日	5	3.5%	
3泊以上	3	2.1%	
上記以外	2	1.4%	
日帰り	100	70.4%	
<b>総計</b>	<b>142</b>	<b>100.0%</b>	
日帰り	100	70.4%	
宿泊あり (上記以外は含まず)	40	28.2%	

都道府県 東京都			
行ラベル	個数 / 旅行日程	構成割合	
1泊2日	28	19.7%	
2泊3日	30	21.1%	
3泊以上	53	37.3%	
上記以外	10	7.0%	
日帰り	21	14.8%	
<b>総計</b>	<b>142</b>	<b>100.0%</b>	
日帰り	21	14.8%	
宿泊あり (上記以外は含まず)	111	78.2%	

表 11. 旅行日程\_山口県 (左)、大阪府 (右)

都道府県	山口県	
行ラベル	個数 / 旅行日程	構成割合
1泊2日	14	10.2%
2泊3日	2	1.5%
3泊以上	121	88.3%
上記以外	137	100.0%
日帰り	121	88.3%
宿泊あり (上記以外は含まず)	16	11.7%

都道府県	大阪府	
行ラベル	個数 / 旅行日程	構成割合
1泊2日	30	31.9%
2泊3日	33	35.1%
3泊以上	10	10.6%
上記以外	3	3.2%
日帰り	18	19.1%
総計	94	100.0%
日帰り	18	19.1%
宿泊あり (上記以外は含まず)	73	77.7%

表 12. 旅行日程\_兵庫県 (左)、神奈川県 (右)

都道府県	兵庫県	
行ラベル	個数 / 旅行日程	構成割合
1泊2日	29	31.2%
2泊3日	27	29.0%
3泊以上	11	11.8%
上記以外	2	2.2%
日帰り	24	25.8%
総計	93	100.0%
日帰り	24	25.8%
宿泊あり (上記以外は含まず)	67	72.0%

都道府県	神奈川県	
行ラベル	個数 / 旅行日程	構成割合
1泊2日	16	21.1%
2泊3日	20	26.3%
3泊以上	30	39.5%
上記以外	3	3.9%
日帰り	7	9.2%
総計	76	100.0%
日帰り	7	9.2%
宿泊あり (上記以外は含まず)	66	86.8%

表 13. 旅行日程\_福岡県 (左)、島根県 (右)

都道府県	福岡県	
行ラベル	個数 / 旅行日程	構成割合
1泊2日	19	29.7%
2泊3日	9	14.1%
3泊以上	1	1.6%
上記以外	2	3.1%
日帰り	33	51.6%
総計	64	100.0%
日帰り	33	51.6%
宿泊あり (上記以外は含まず)	29	45.3%

都道府県	島根県	
行ラベル	個数 / 旅行日程	構成割合
1泊2日	10	17.9%
2泊3日	3	5.4%
3泊以上	2	3.6%
上記以外	4	7.1%
日帰り	37	66.1%
総計	56	100.0%
日帰り	37	66.1%
宿泊あり (上記以外は含まず)	15	26.8%

表 14. 旅行日程\_愛知県 (左)、埼玉県 (右)

都道府県	愛知県	
行ラベル	個数 / 旅行日程	構成割合
1泊2日	19	38.8%
2泊3日	8	16.3%
3泊以上	12	24.5%
上記以外	3	6.1%
日帰り	7	14.3%
総計	49	100.0%
日帰り	7	14.3%
宿泊あり (上記以外は含まず)	39	79.6%

都道府県	埼玉県	
行ラベル	個数 / 旅行日程	構成割合
1泊2日	9	20.0%
2泊3日	13	28.9%
3泊以上	13	28.9%
上記以外	3	6.7%
日帰り	7	15.6%
総計	45	100.0%
日帰り	7	15.6%
宿泊あり (上記以外は含まず)	35	77.8%

⑦ 町内消費額

旅行日程が「日帰り」の回答について旅行全体での一人当たりの消費額平均値は 2,389 円となった。個別回答では「～1,000 円」の 30.8%が最も多く、次いで「1,001～2,000 円」(24.7%)、「2,001～3,000 円」(19.3%) となった。(表 15)

旅行日程で「1泊2日」「2泊3日」「3泊以上」と回答のあった宿泊ありに関する一人当たりの消費額平均は 6,563 円となった。宿泊ありの回答結果に関しても消費額「～1,000 円」が構成割合としては 27.5%と最も高くなった。(表 16)

なお注意点として本アンケートでは設問の設定として「津和野町内での消費額」に関する回答を求めている。そのため宿泊地が山口市や益田市といった津和野町町外の場合、本アンケートの回答の金額には含まない形での回答を促している。そのため旅行日程としては「宿泊あり」となった場合でも、宿泊場所が津和野町外の場合、今回の消費額には含まれない形となっている。参考として令和 5 年 島根県観光動態調査で集計された一人当たりの観光消費額は次ページ参考表の通りとなっている。

表 15.町内消費額\_旅行日程\_日帰り

旅行日程	日帰り			
行ラベル	個数 / 町内消費額	構成割合	A.消費額中央値	B.消費額 (A×個数)
～1,000円	142	30.8%	500	71,000
1,001～2,000円	114	24.7%	1,500	171,000
2,001～3,000円	89	19.3%	2,500	222,500
3,000～5,000円	78	16.9%	4,000	312,000
5,001～10,000円	31	6.7%	7,500	232,500
10,001～15,000円	6	1.3%	12,500	75,000
15,001～20,000円	1	0.2%	17,500	17,500
<b>総計</b>	<b>461</b>	<b>100.0%</b>		<b>1,101,500</b>
消費額平均値 (単位:円) (B.総計/行ラベル総計)				2,389

表 16.町内消費額\_旅行日程\_宿泊あり

旅行日程	(複数のアイテム)			
行ラベル	個数 / 町内消費額	構成割合	A.消費額中央値	B.消費額 (A×個数)
～1,000円	196	27.5%	500	98,000
1,001～2,000円	111	15.6%	1,500	166,500
2,001～3,000円	107	15.0%	2,500	267,500
3,000～5,000円	95	13.3%	4,000	380,000
5,001～10,000円	74	10.4%	7,500	555,000
10,001～15,000円	47	6.6%	12,500	587,500
15,001～20,000円	18	2.5%	17,500	315,000
20,001～25,000円	16	2.2%	22,500	360,000
25,001～30,000円	12	1.7%	27,500	330,000
30,001～50,000円	23	3.2%	40,000	920,000
50,001円以上	14	2.0%	50,000	700,000
<b>総計</b>	<b>713</b>	<b>100.0%</b>		<b>4,679,500</b>
消費額平均値 (単位:円) (B.総計/行ラベル総計)				6,563

【参考表】一人当たりの観光消費額（令和5年島根県観光動態調査より抜粋）

(単位:円)

区分		宿泊費	交通費	土産代	飲食費	入場料	その他	合計
県内・宿泊	男	17,301	2,109	1,149	2,349	546	379	23,834
	女	14,919	4,106	1,381	2,302	449	1,351	24,508
県外・宿泊	男	17,910	2,287	3,862	4,189	957	1,031	30,239
	女	17,316	2,768	3,678	4,326	742	449	29,281
県内・日帰り	男	0	330	726	1,045	305	687	3,093
	女	0	388	538	945	296	281	2,448
県外・日帰り	男	0	945	1,616	1,935	464	278	5,239
	女	0	847	1,750	1,779	315	381	5,072

なお、同行者別に観光消費額の回答数と構成率は表17の通りとなった。単身旅行(一人)では消費額が「~1,000円」が38.7%（回答数185件）を占める結果となっており、出費を抑えながら観光を楽しもうとする傾向であると推察できる。

町内での消費額として「50,001円」以上の回答が15件（1.2%）得られており、高単価な客層の入込が実績として確認できている。

表17.消費額の構成割合\_同行者別

消費額回答数/同行者別	列ラベル						総計
行ラベル	一人	家族	夫婦	友人・知人	恋人	上記以外	
~1,000円	185	62	60	33	6	9	355
1,001~2,000円	105	55	44	20	6	8	238
2,001~3,000円	68	61	55	14	1	3	202
3,000~5,000円	47	69	46	11	2	3	178
5,001~10,000円	37	38	22	7	4	1	109
10,001~15,000円	22	14	13	4	4		57
15,001~20,000円	4	5	8		2		19
20,001~25,000円	6	2	9			1	18
25,001~30,000円		2	8		2		12
30,001~50,000円	3	5	14		1		23
50,001円以上	1	7	5		1	1	15
総計	478	320	284	95	24	25	1226

同行者別ごとの消費額の割合	列ラベル						総計
行ラベル	一人	家族	夫婦	友人・知人	恋人	上記以外	
~1,000円	38.7%	19.4%	21.1%	34.7%	25.0%	36.0%	29.0%
1,001~2,000円	22.0%	17.2%	15.5%	21.1%	25.0%	32.0%	19.4%
2,001~3,000円	14.2%	19.1%	19.4%	14.7%	4.2%	12.0%	16.5%
3,000~5,000円	9.8%	21.6%	16.2%	11.6%	8.3%	12.0%	14.5%
5,001~10,000円	7.7%	11.9%	7.7%	7.4%	16.7%	4.0%	8.9%
10,001~15,000円	4.6%	4.4%	4.6%	4.2%	16.7%	0.0%	4.6%
15,001~20,000円	0.8%	1.6%	2.8%	2.1%	0.0%	0.0%	1.5%
20,001~25,000円	1.3%	0.6%	3.2%	0.0%	0.0%	4.0%	1.5%
25,001~30,000円	0.0%	0.6%	2.8%	2.1%	0.0%	0.0%	1.0%
30,001~50,000円	0.6%	1.6%	4.9%	1.1%	0.0%	0.0%	1.9%
50,001円以上	0.2%	2.2%	1.8%	1.1%	4.2%	0.0%	1.2%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

⑧ 利用した交通手段

自家用車が47.2%、鉄道29.7%、レンタカー8.7%となった。自家用車に関しては複数の交通手段を利用した回答も含めると48.7%を占める。鉄道に関しては本アンケートの設置場所が津和野駅であり鉄道利用者が本アンケートに回答しやすい環境にあることを考慮すると実態として鉄道利用の割合はもう少し低くなると考えられる。

表 18.利用した交通手段

行ラベル	構成割合 / 利用交通手段
自家用車	47.2%
鉄道	29.7%
レンタカー	8.7%
バス	2.5%
オートバイ	1.9%
飛行機, レンタカー	1.6%
飛行機, 鉄道	1.5%
鉄道, バス	1.1%
飛行機	1.1%
自家用車, 鉄道	0.8%
鉄道, レンタカー	0.7%
その他	0.6%
飛行機, 鉄道, バス	0.6%
飛行機, バス	0.5%
自転車	0.3%
飛行機, 鉄道, レンタカー	0.2%
自家用車, 飛行機	0.2%
自家用車, 鉄道, レンタカー	0.1%
自家用車, オートバイ	0.1%
鉄道, その他	0.1%
自家用車, その他	0.1%
自家用車, 飛行機, 鉄道, レンタカー	0.1%
自家用車, 鉄道, バス	0.1%
自家用車, バス	0.1%
鉄道, レンタカー, バス	0.1%
自家用車, 飛行機, その他	0.1%
<b>総計</b>	<b>100.0%</b>

#### 4. 実施アンケートフォーム

実施場所で来訪者が回答したアンケート画面は次のとおり。

**島根県 津和野町**

### つわみんマンホールカード・アンケートフォーム

このフォームに回答いただくことで、マンホールカードをお渡しします。本アンケートの内容は今後、町の観光盛り上げに活用させていただきます。

[Tsumianshokoku@gmail.com](mailto:Tsumianshokoku@gmail.com) アカウントを切り替えま

匿名 共有なし

**\* 必須の質問です**

あなたの性別を教えてください\*

あなたの年代を教えてください\*

津和野に来たことがある回数を教えてください（初めての方は「1」）\*

津和野へはどなたと来られましたか？\*

今日のご旅行の日程を教えてください\*

津和野町内で何らかいお買い物されましたか（買物も含めて、大まかでもOK）\*

津和野までどんな交通手段で来られましたか（主に使われたモノをお選びください）複数選択可

- 自家用車
- 飛行機
- 鉄道
- レンタカー
- バス
- 自転車
- オートバイ
- その他

すべての項目に回答後、「送信」ボタンを押してください。

**送信** フォームをクリア

## 5. 今後の調査分析に関する整理

現在、津和野町に来訪された方の個人属性（性別、年代、居住地域など）や消費行動（移動手段、消費額）など観光動態に関する調査アンケートは令和6年10月から開始した津和野観光アンケートにその役割を移行している。

今後、本アンケートで集計したデータを基礎資料としながら上記観光アンケートで収集したデータと比較し今後の施策の立案に活用していくこととする。